

# MAITSURU PROJECT

## INTERVIEW 02

令和6年度フロントエンドエンジニア育成講座受講

サン株式会社 森村 <sup>めぐみ</sup>愛さん

### GOOD POINT

プロジェクトの良かったところ

- 県の取り組みという安心感がありチャレンジしやすかった
- 企業交流会で社長と直接話をして会社の魅力を知ることができた
- 講座での成功体験が新しいことへの挑戦を後押しした



## 「一歩踏み出して人生が変わった講座で得た自信と出会い」

### 営業補佐として建設業務を幅広くサポート

令和7年5月に入社し、現在は建設部門で営業補佐を担当しています。主な業務は、見積書や各種書類の作成、工事価格を算出する積算業務、CADを用いた作図などです。

積算業務では、工事内容を理解した上で、必要な材料や人件費などを計算し、適正な価格を算出します。CADを用いて、道路や駐車場などの図面の作成も行っています。「普段目にしていないものは、こうやって作られているのか」という発見があり、新鮮な驚きを感じながら業務に取り組んでいます。

他にも、ホームページのお知らせ欄の更新や、毎週行う営業会議での議事録作成なども担当しています。現場技術者が工事に専念できるよう、各種書類作成を巻き取るなど、事務の側面



企業交流会で印象に残っていた農業の話。入社後、畑で野菜の収穫を体験した。

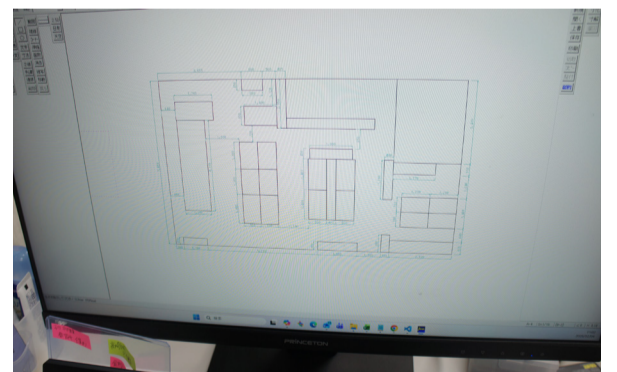
から現場を支えていくのが私の役割だと考えています。少しでも会社の役に立てるように、日々業務に取り組んでいます。

### 県の事業という安心感でやっと一歩が踏み出せた

受講のきっかけは、インスタグラムで偶然目にした広告です。当時は派遣社員として働いており、働き方について漠然と悩んでいた時期でした。説明会の2日前に広告を見て、軽い気持ちで参加したことが、大きな転機となりました。

受講を決めた理由の一つは、群馬県が実施しているプロジェクトだという安心感でした。新しいことを始めるのは勇気が必要ですが、「この機会を逃したら、もう変わるきっかけはないかもしれない」と、思い切ってチャレンジしました。

講座で特に印象的だったのは、企業交流会です。複数の企業の担当者や直接話す機会があり、会社の雰囲気や仕事内容を具体的に知れました。その中で当社の社長と出会い、建設業をメインに続けてきた会社でIT事業を立ち上げ、さらに農業にも視野を広げるなど、新しいことに挑戦し続ける社長の姿勢に共感し、直感的に「ここだ」と思ったことが入社につながりました。



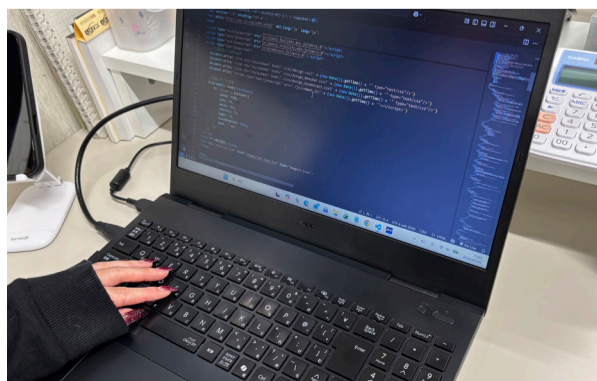
建設業界で使うCADも学んで、業務に生かしている。

### 講座で得た成功体験で新しい挑戦にも前向きに

講座で良かったことは、日々の小さな成功体験を積み上げられたことです。自分で書いたコードで背景に色がついたり、文字が表示されたり、結果が目に見える作業が多く、作業を解決していくと自信につながりました。

現在は通常業務と並行して業務効率化にも挑戦しています。Google Apps Scriptを使って、フォームからの入力を自動でシートに反映させる仕組みを作成し、試験運用中です。以前なら「難しい」と諦めていたかもしれないことが、講座での成功体験があったからこそ、新しいことにチャレンジするマインドになり、初めてのツールにも前向きに取り組んでいます。

### 業務効率化を進めて会社の成長に貢献したい



HTMLファイルを更新して会社のHPの管理も行う。

今後は、業務のデジタル化をさらに推進したいと考えています。まだまだ「見える化」できていない部分や、ルールを明確にすることでヒューマンエラーを減らせる部分があると感じています。

同時に、建設業界についての知識も深めていきたいです。入社してまだ1年足らずで、専門用語も分からないことが多く、工事内容を理解するのに苦労することもあります。業務知識を深めれば、正確で効率的な仕事ができるようになると思います。

また、実務で使うExcelやCADをより使いこなし、マクロなどの機能も習得することで、できることの幅を広げていきたいです。ツールのスキルを高めて業務の精度を上げ、会社の業務改善や効率化にさらに貢献できればと思います。日々の業務を重ねる中で、少しずつできることが増え、作業時間も短くなっています。成長を実感しながら、これからも一つひとつ経験を積み重ねていきたいです。